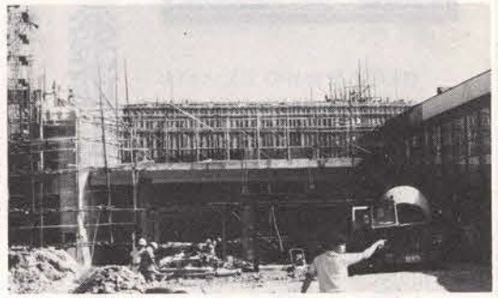
ことしもすすむ町づくり

ことしも健康で住みよい町づくりが、市内あちこちですすめられています。

道路や排水、広場づくり、などがことしも行なわれますが、現在着手されているもの、これから着手するものなどの主なものを拾ってみることにしました。



建設進む文化センター

副港埋立地に市民広場を造成

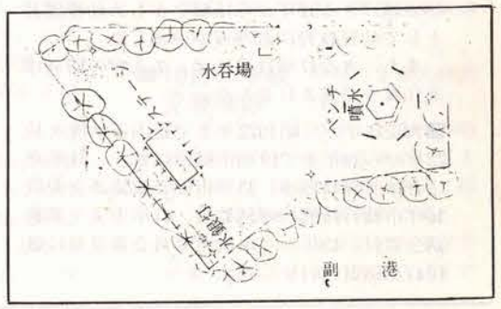
昨年埋立が完了しました副港埋立地に、ことしは《市民の憩いの場》となる市民広場が完成されます。

この広場は、総面積五千二百平方㍍に、周囲にはすでに、ヤチダモ、イタヤ、黒松、エゾ山桜、イタリアポプラなど約二百本が植樹されています。

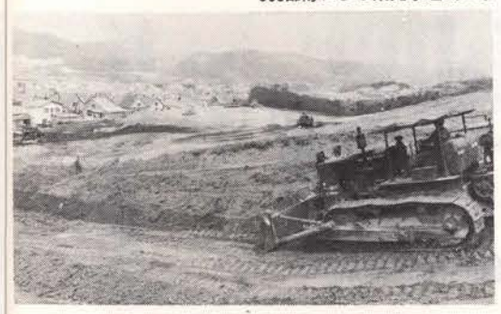
広場内部には、七色に変る噴水やベンチ、野外ステージも設置されます。

特に野外ステージは横二十五㍍奥行十二㍍、三百平方㍍のステージで、鉄骨組、屋根つきのもので照明なども設備されます。

この外、水銀灯、水呑場、便所などの附帯施設整備がなされます。



元町と千鳥町にプールを建設



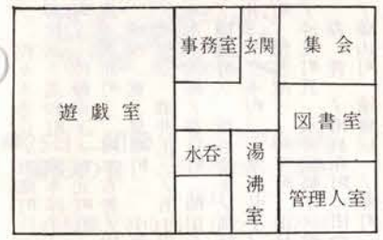
308部隊による東光小造成工事

本格的な夏に向かって千鳥町そ今月中旬には完成される予定です。

元町の二ヶ所にプールが建設され、このプールは二ヶ所とも、横二十五㍍、従十五㍍、鋼製プールで深さは六・五㍍から一㍍十五㌢までで、特に六十五㌢の幼児用の箇所には鉄柵で仕切りがつけられています。

プールの周囲には、附帯施設として更衣室、機械室、管理人室などが配置されています。

元町プールは、旧元町保育所跡地に、また千鳥町プールは旧留萌高校跡地に建設されています。



末広児童館平面図

市五番目の児童館を建設

市五番目の児童館が末広町二丁目に誕生します。

これは〝末広児童館〟です。

この児童館は、木造モルタル平家建二百二十四平方㍍に遊ぎ室、集会室、静養室、図書室、管理人室などを配置し、特に遊ぎ室はアコーデオンドアーで仕切られるようになっています。

収容人員は建物全体で百七十人を収容することができる。ます。

完成は十月末日の予定ですが、末広町地域は、近年とくに商業・準工業地域として発展している半面、子供がのびのびと遊べる広場などもなく、早くからこの児童館建設が望まれていましたが、この児童館の完成が待ち望まれています。

市では、これまで二年に一ヶ所の児童館建設計画をたて、計画に添って地域ごとに建設を進めてきましたが、これで市内で五番目の児童館が誕生することになりました。

3ヵ年で東光小学校の建設に着手

—自衛隊308部隊が整地援助—

三カ年で東光小学校を建設

考朽が激しく、早くから改築が望まれていた市立東光小学校の改築工事が、いよいよ本年から着手されます。

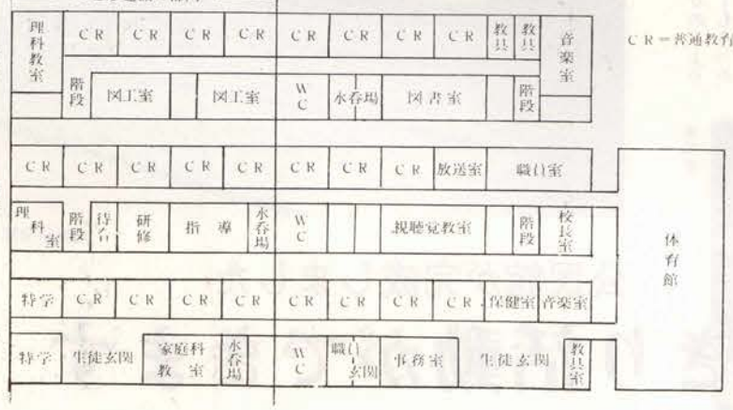
留萌中学校裏（住之江町）の高台に、現在、陸上自衛隊三〇八部隊の協力で整地作業が進められています。

新しく建設される東光小学校校舎は、三ヶ年計画で進められ、総面積五千三百八十九平方㍍の敷地に二千三百四十九平方㍍の鉄筋コンクリート三階建てで建物内には普通教室二十四室、図書室、音楽室、視聴覚室、放送室などが配置されています。

この内、本年度は、普通教室十三室、特別教室二室、言語治療教室二室、理科室二室、図書室二室家庭科教室一室の建設が予定されています。

また、三年目に建設予定の屋内体育館は総面積千三十一平方㍍にステージ、更衣室などが配置され校舎全館は温風暖房が完備されます。

東光小学校建設図（平面）



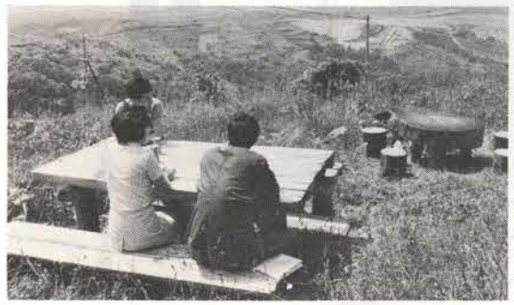
千望台にベンチなどを整備

市内を一望に見渡す千望台に、テーブルベンチなど十二台が備え付けられました。

市では、従来から市民の自然公園として千望台周辺の整備を進めてきましたが、新しく木の持つ特性（ラワン材質）を十分に生かした円型テーブル六卓とベンチ六基を備え付けました。

これから訪れる市民の方々は、市内を一望しながら、ジンギスカン鍋に舌づつみをうつこともいいのではないでしょうか。

しかし、その際のゴミは、きちんと備え付けのクズ箱へ捨ててください。



26日から広域時分制

市内通話も3分ごと7円に

七月二十七日から、ダイヤル市内通話は、三分ごとに七円になります。

また、七円の最低料金でかけられる地域（右図の区域）が拡大されました。

つまり、従来は七円で留萌市内だけでしたが改制で同じ七円で三分間は鬼鹿と話ができるわけです。

簡易保険の団体貸付けをどうぞ！

簡易保険の加入者15世帯以上の団体が、保健衛生施設や厚生施設をつくるときの資金をお貸し致します。

★ くわしくは、郵便局へお問い合わせ下さい。